

## 平成 29 年度 埼臨技会誌 優秀論文賞

- ・飯野 望 氏（埼玉医科大学保健医療学部臨床検査学科）
- ・テーマ：急性骨髄性白血病患者における「WT1 アッセイ」を用いた早期再発予想の有用性
- ・分類：研究 第 64 巻 3 号 (Vol. 64 No. 3 2017)

- ・推薦理由：

WT1mRNA の発現は、急性骨髄性白血病（AML）の 90%以上の症例で認め、また、PCR アッセイでは、形態学的に限界のある微少残存病変（MRD）を検出することが可能である。本論文は、WT1 アッセイにより AML 再発の兆候である MRD の早期予測が可能か否かを、末梢血を用いて検討した。結果は 15 症例中 13 例（86.7%）で再発を早期に予測することが可能であった。執筆者は早期予測の見極めとして、測定の間隔をできるだけ空けずに値の増減を把握することが重要であると述べている。この研究は、今後も知見を重ね、さらに有効な臨床応用が広がることを期待する。

よって、本論文の研究成果を評価し、優秀論文賞に推薦する。